

## 行事報告

### はがき通信・兵庫頸髄損傷者連絡会 合同シンポジウム

土田 浩敬

#### 1、はじめに

皆様こんにちは。  
夏も終わり、頸損者にとって過ごしやすい季節になりましたね。しかし朝晩の冷え込みで、風邪等ひいて体調を崩されていませんか。健康体を保つということは、頸損者にとって難しいテーマであり大事なことだということは、皆様も十分に承知されていると思います。

今回は、頸損者にとって悩ましい問題である“排泄”について取り上げたシンポジウムが、10月1日(土)姫路市にある、専門学校の講堂をお借りして、はがき通信・兵庫頸髄損傷者連絡会(以下、兵庫頸損連)との共催で開催されました。私自身もシンポジストとして参加させていただき、その場を借りて自身の問題を伝えることができたのではないかと思います。前置きが長くなりましたが、報告させていただきます。

#### 2、概要

日時：2016年10月1日(土)13:30~16:30  
場所：ハーベスト医療福祉専門学校1階講堂にて開催。(JR 姫路駅南側東へすぐ)  
はがき通信、兵庫頸髄損傷者連絡会との共催。はがき通信懇親会に併せて“排泄をテーマにした”シンポジウムが開かれました。

#### 3、排泄シンポジウム

今回、急にシンポジストとして決まりました。時間のあまりない中でしたが、自分の現状を参加される方々に伝えて、一緒に考える場になればいいと思いながら、資料作りを行っていました。頸損者の排泄で困ることと言えば、失便、お腹のハリ、便秘、排便に要する時間...泌尿器系でいえば膀胱結石等、あげていけばキリがないですよ。共感される方も多いと思われます。

頸損連には、“You Are Not Alone” ~1人じゃないよ~、というスローガンがあるのをご存知だと思います。そうです、排泄で困っているのは

1人だけではないのです。頸損者である、みんな困っているのです。みんなで共感して、問題について考える、いい機会になりました。

兵庫頸損連から島本卓さん、神奈川頸損連から星野太志さん、瀬出井弘美さん、皆さんそれぞれが自身の排泄法を発表されて、興味深い物になり、個人的な意見ですがストーマについて、もっと聞いてみたいと思いました。“ストーマにしてみたい”と思われた方もいたのではないのでしょうか。

兵庫県立総合リハビリテーションセンターWOCナース(Wound 創傷, Ostomy ストーマ人工肛門, Continence 失禁 皮膚、排泄ケア認定看護師)谷口まゆみさんからの排泄のメカニズム、ストーマについてのお話も非常に参考になりました。

#### 4、さいごに

今回は基調講演無し、パネルディスカッションのコーディネーター無しという、異例のシンポジウム?となったわけです。それは、私達実行委員の準備不足は否めません。今後の課題として、兵庫頸損連のステップアップとなるように、務めていきたいと思いました。

ともかく、頸損者にとって排泄問題は切っても切れない問題だと改めて実感しました。皆さんが考える理想の排泄に、少しでも近づくように、頸損者にとって明るい兆しがさしてくる事を願い、今回の報告を終えたいと思います。

